

ニュースから考える

新年明けましておめでとうございます。税理士の佐藤(寿)です。本年が貴社にとって飛躍の年となりますよう祈念いたします。

さて、日銀の発表によりますと財布や金庫などに保管されているいわゆるタンス預金として「年越し」するお札が過去最高の 118 兆円だったそうで、我が家には家にお金を置くという習慣が無いので不思議な感じ。日銀によると「低金利で金融機関に預けても利息が貰えない」、「コロナ禍で景気の先行きが不透明だから手元にお金を置いて置きたい」などの背景があると分析しています。



に保管されているいわゆるタンス預金として「年越し」するお札が過去最高の 118 兆円だったそうで、我が家には家にお金を置くという習慣が無いので不思議な感じ。

実態は・・・財産を隠しているのか・・・銀行に行くのが面倒くさいなのか・・・本当の理由は手元にお金を置いている人にしか分かりません。仮に不正な蓄財だとしたら渋沢栄一(新札)さんの登場で改善されるかも知れません。

一方、預金や有価証券などの金融資産全体も 1900 兆円(2020/09 時点)と、これまた過去最高を記録しています。現金のみならず・・・預金や有価証券などの金融資産も増え続けているのが現実のようです。

ズバリ！ お金はあまっています。景気が低迷している事を考えるとコロナ感染の拡大が原因で消費が抑制されているのでしょう。そうだとすると「コロナ克服」後は景気が回復するはず。す。

まだまだ忍耐は続きますが・・・明るく前向きな気持ちで新年をスタートさせたいですね！

1分でわかる業務カイゼン

「貯金好き」

日本人は貯金好きの国民性と言われていますが最近はどうも無いようです。

家計貯蓄率の国際比較(2017)によると、給料



から残ったお金で貯蓄に回った割合では日本(2.3%)、アメリカ(6.7%)、イギリス(4.2%)、ドイツ(9.9%)、フランス

(13.8%)と先進国の中でも低迷しています。別の統計(OECD2019)によると中国がダントツの1位なのに対し日本は21位で、今は日本人より中国人の方が貯金好きなのが実態のようで、中

国人の購買意欲に左右される時代が来てることは間違いなさそうです。

日本人も頑張らねば・・・。

「ためる」

突然「ためた」方が良いか・・・悪いかと質問されたらほとんどの人は「ためる事は良い事」と答えるでしょう。しかし、中国伝来の漢字にすると「ためる=良い事」とはならないから不思議なものです。

良い意味では「お金を貯める」が代表例ですが、悪い意味では「ストレスを溜める」、「借金を溜める」が使われます。

「貯めるとは・・・将来のためにお金を蓄えること」と比較的良いイメージ、一方「溜めるとは・・・必要なものを無駄にしないで集めることに加えいらぬものを集めること」を意味し、「水を溜める」のように比較的良い + 「仕事を溜める」

のように比較的悪いと二面性を持った言葉になります。

良い意味の「ためる」は企業経営にとって大切なものですが、悪い意味での「溜める」であるストレス、借金などは

少なくしたいですね・・・。

「つかう」から「ためる ふやす」へ

この仕事を初めて数年ほどして画期的なある法則を発見しました。それは・・・粗利を増やし、経費を減らすと利益がでるとの因果関係です。

この話にほとんど経営者は「そんなの当たり前、出来たら苦労しない」といって相手にしてくれませんでした。職員時代の話なのでそう答えた経営者は現在、当事務所のお客様には居ません。

しかし、経営者が利益を増やす方法が**無いのが当たり前**と考えだした時点で企業の成長は止まり衰退へまっしぐらとなります。

そのような経験があり、新規開業企業には「当月の売上 - 仕入 = 粗利(%) - 経費 = 利益」を確認し**改善策を考えるのが当たり前**となるため毎月資料を送付させていただいています。

前月よりも経費が多いと気になり、粗利(儲け)が低いと原因を追究したくなるという「経営」の基本が身につきます。これが「経営道」の第一歩です。



その延長線上にある「つかう(仕入+経費)」を減らし、「ためる(利益)」回数を「ふやす」とお金は貯まってきます。先ほどお話ししたように「溜める」と違い「貯める」は良い事しかありません。

今年の目標は「つかう」を減らし、「ためる」を増やす事を真剣に考える一年になって頂けたら幸いです。

今月のことば

金がないから何も出来ないという人間は、

金があっても何も出来ない人間である

小林一三：阪急電鉄創始者

編集後記：

仕事柄、紙の廃棄物が大量にでます。自宅近くの「じゅんかんコンビニ(資源のリサイクルセンター)」で年末掃除のゴミとお金(クオカード)との交換をしてきました。ゴミを「溜める」ことはあまり良い事ではありませんが、それでお金を「貯める」事は良い事です。

最近のマイブームは無駄遣いしない事を「支出の最適化」、すこしでもお金を貯める事を「資産形成」と称して楽しんでいきます。大きなお金を貯める事も重要ですが小さなお金を大切にすることも将来のための立派な資産形成です(寿)。

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合(TKCが証明するデータを使用しています)

最近1年間：84.2%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は34.2%(29年4月~30年3月)です)